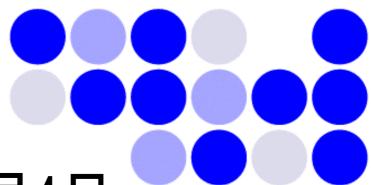




# 2004年3月期中間決算説明会



2003年11月4日

### オムロン株式会社

#### 出席者



代表取締役社長

作田 久男

執行役員副社長

明致 親吾

執行役員 経営企画室長 鈴

鈴木 吉宣

経営企画室 理財部長

近藤 仁

経営企画室 経営IR部長 藤原 裕 (司会進行)

#### 目次



1.2004年3月期 中間決算概要 P4

2.2004年3月期 通期業績見通しP13

#### 注意

- 1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
- 2. 連結子会社数は134社、持分法適用関連会社数は10社です。
- 3. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大き〈異なることがありえます。実際の業績等に影響と与えうる重要な要因には、( )当社の事業領域を取り巻〈日本および開催の経済情勢、( )当社製品・サービスに対する需要動向、( )新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、( )資金調達環境の大幅な変動、( )他社との提携・協力関係、( )為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

### 事業ドメイン名称



IAB: インダストリアルオートメーションビジネス

(工場自動化等の制御機器の製造販売)

ECB: エレクトロニクスコンポーネンツビジネス

(家電やモバイル機器等への電子部品の製造販売)

AEC: オートモーティブエレクトロニックコンポーネンツ

(自動車搭載用電子部品の製造販売)

SSB: ソーシアルシステムズビジネス\*

(ATM等の金融機器、自動改札機等の鉄道機器等)

ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーと

アドバンスト·モジュール·ビジネスカンパニー(AMB)の2カンパニーが属しています。

HCB: ヘルスケアビジネス

(電子血圧計等の健康機器の製造販売)

その他:事業開発本部・他

(新規事業の探索や、上記部門に属さない事業)



### 1.2004年3月期 中間決算概要

2003年 9月期実績

### 中間期実績

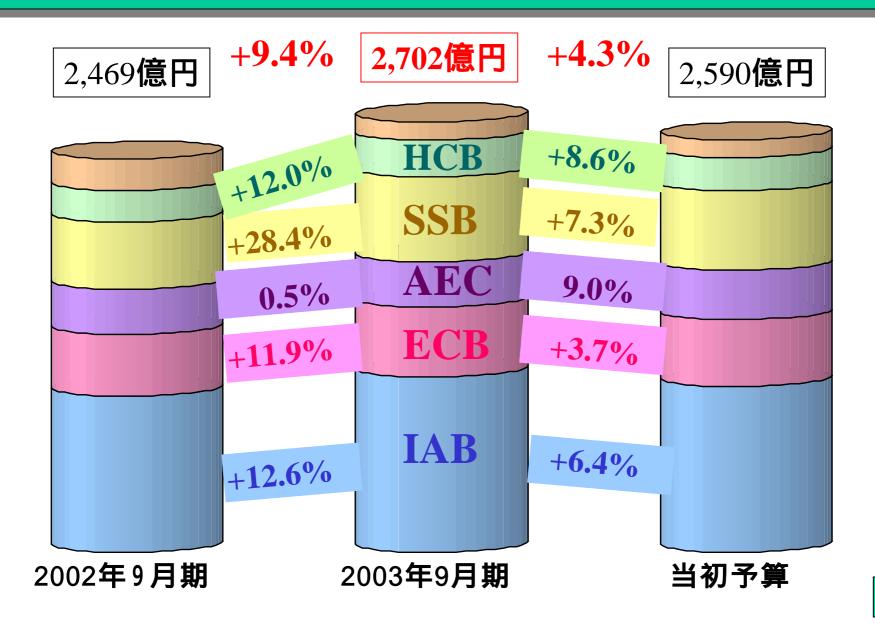


(単位:億円)

上期実績	2003年9月		2002年9月		前年比
	実績		実績		増減
					%
売上高	2,702	100.0%	2,469	100.0%	109.4%
売上総利益	1,130	41.8%	949	38.4%	119.1%
販管費	710	26.2%	651	26.4%	109.0%
R&D費	205	7.6%	183	7.4%	111.7%
営業利益	215	8.0%	115	4.6%	188.0%
営業外費用	21	0.8%	242	9.8%	8.7%
税前利益	194	7.2%	-127	-5.2%	-152.7%
税引後利益	77	2.8%	-97	-3.9%	-79.1%

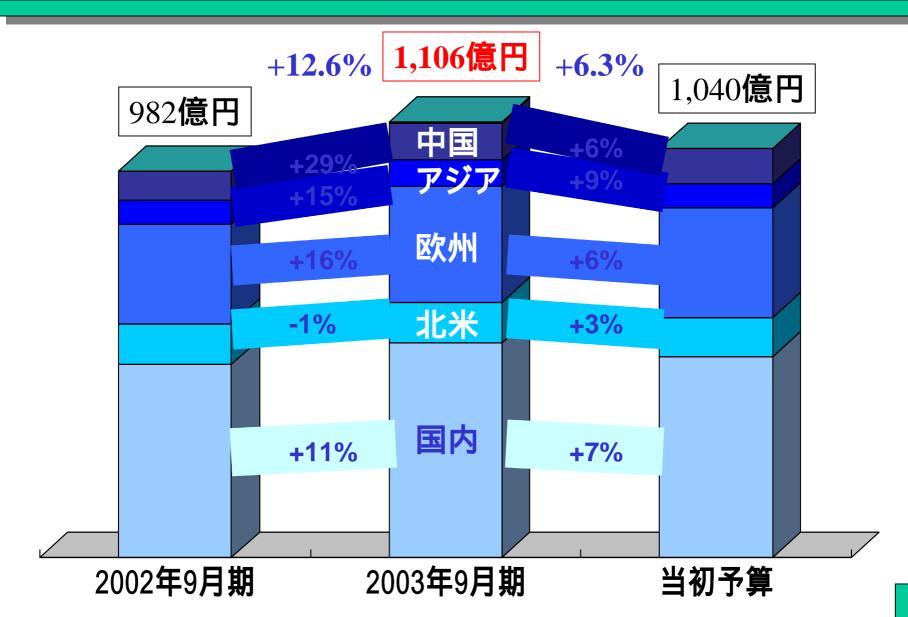
### 売上実績





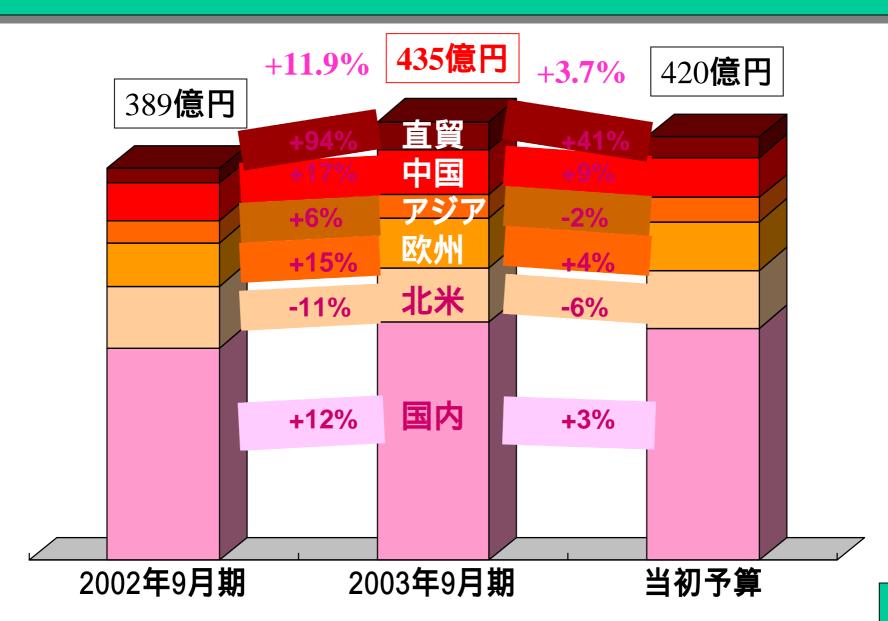
#### **IAB**





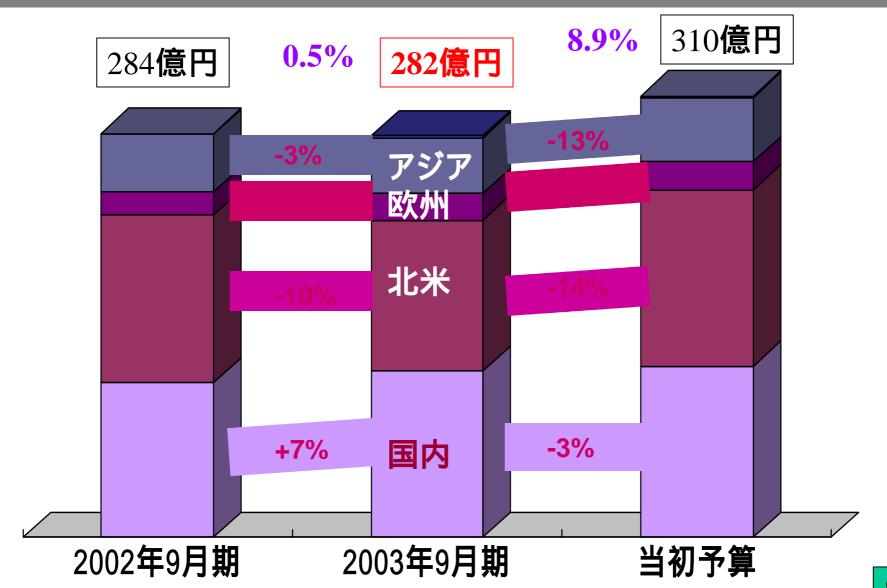
#### **ECB**





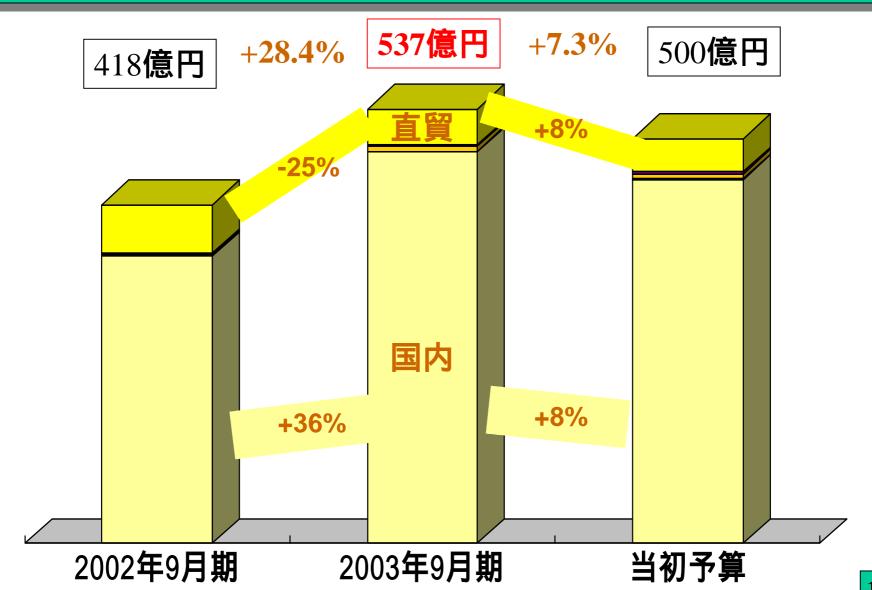
### **AEC**





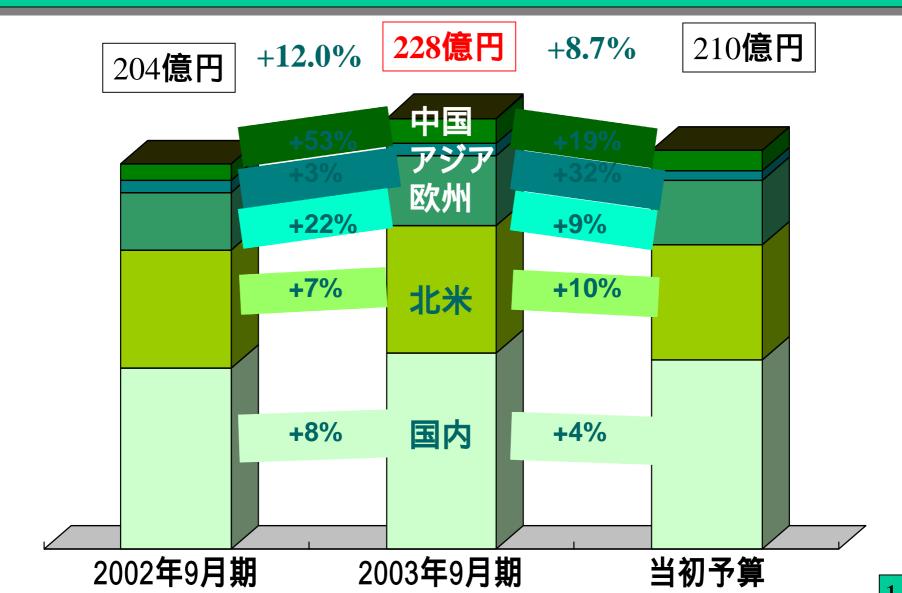
### **SSB**





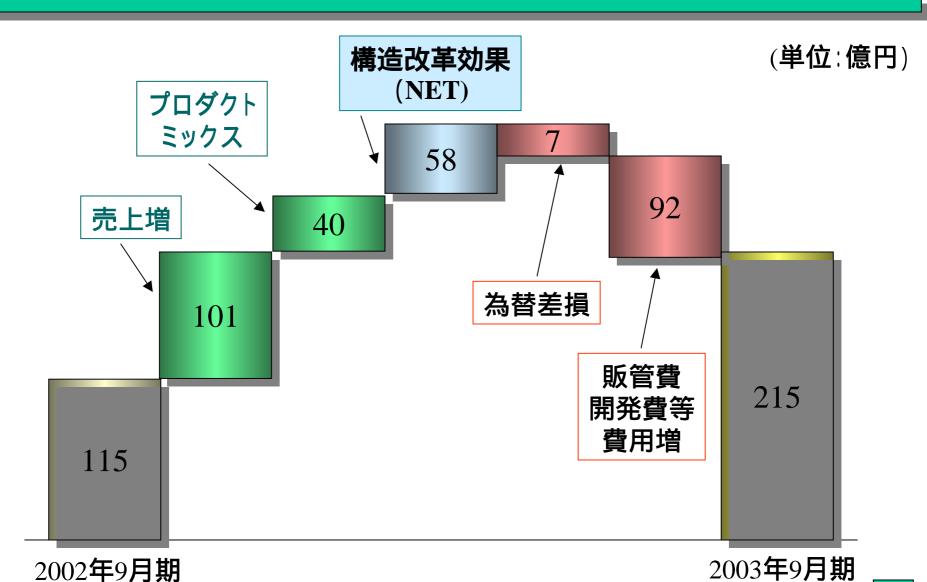
#### **HCB**





### 営業利益





2003年 9月期実績

### キャッシュ・フロー

出田



出治

	ョ <del>期</del> (03 <b>年</b> 9月末)	<u>(02年9月末)</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	355億円	150億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	155 <b>億円</b>	128 <b>億円</b>
フリー・キャッシュ・フロー	200億円	22億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	179 <b>億円</b>	107 <b>億円</b>
現金および現金同等物の増減額	7 <b>億円</b>	124 <b>億円</b>
期末現金および現金同等物	793 <b>億円</b>	832 <b>億円</b>



### 2.2004年3月期 通期業績見通し

### 通期見通し

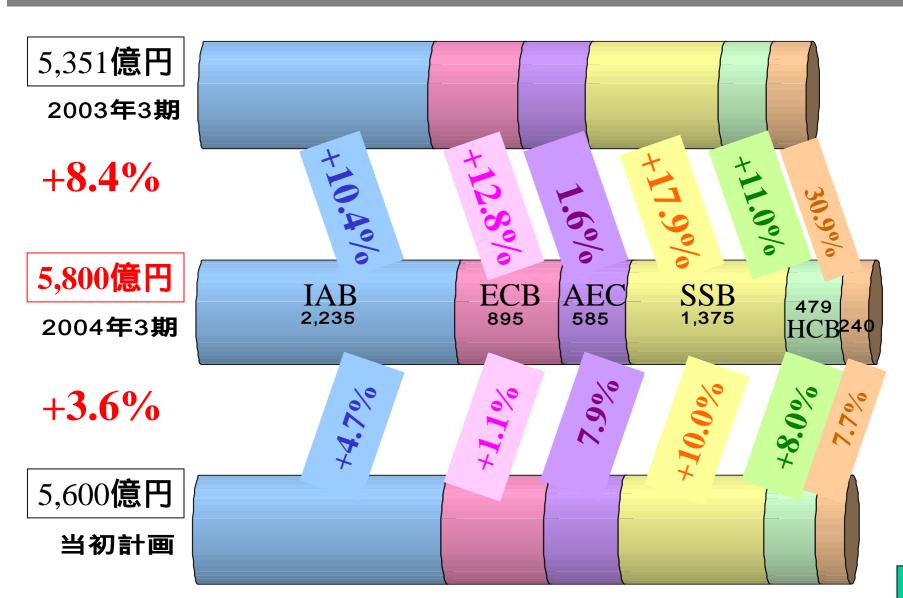


(単位:億円)

通期	2004年3月期		2003年3月期		前年比
	見通し		実績		増減
					%
売上高	5,800	100.0%	5,351	100.0%	108.4%
売上総利益	2,390	41.2%	2,077	38.8%	115.1%
販管費	1,430	24.7%	1,351	25.3%	105.8%
R&D費	460	7.9%	402	7.5%	114.3%
営業利益	500	8.6%	323	6.0%	154.7%
営業外費用	40	0.7%	276	5.2%	14.5%
税前利益	460	7.9%	47	0.9%	972.1%
税引後利益	240	4.1%	5	0.1%	4696.7%

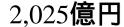
### 通期売上見通し





### IAB売上見通し





2003年3期

+10.4%

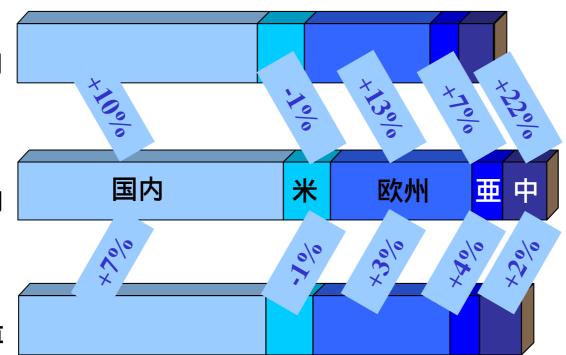
#### 2,235億円

2004年3期

**+4.7%** 

2,135億円

当初予算







#### 営業体制の強化

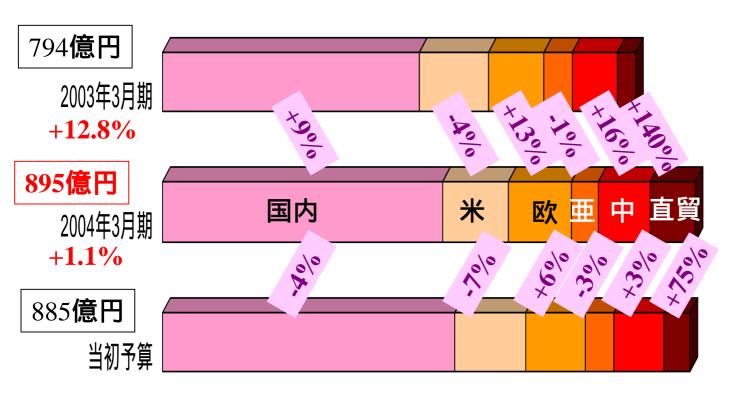
国内:代理店制度

中国: 営業拠点強化 など

ソリューションビジネスの展開

### ECB売上見通し





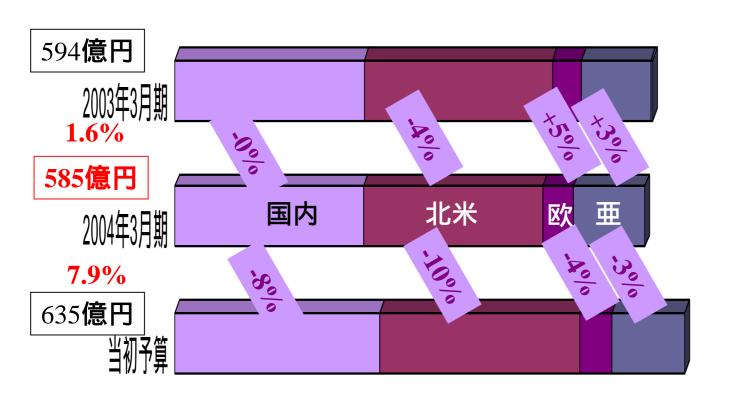
B-MLA



独自商品の開発・投入 B-MLA、FPCコネクタ(モバイル向け)等など 営業力強化

### AEC売上見通し





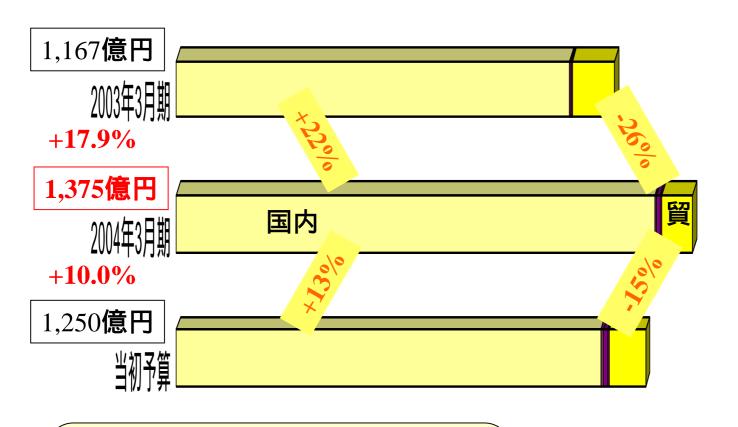




北米主要客先の自動車販売台数低下韓国での主要客先のストライキ

### SSB売上見通し





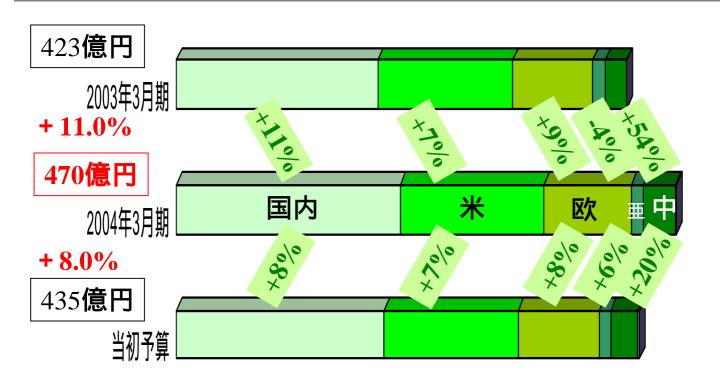




新札改造特需 約157億 鉄道事業堅調 (関東圏券売機、中部圏SFカード等)

### HCB売上見通し





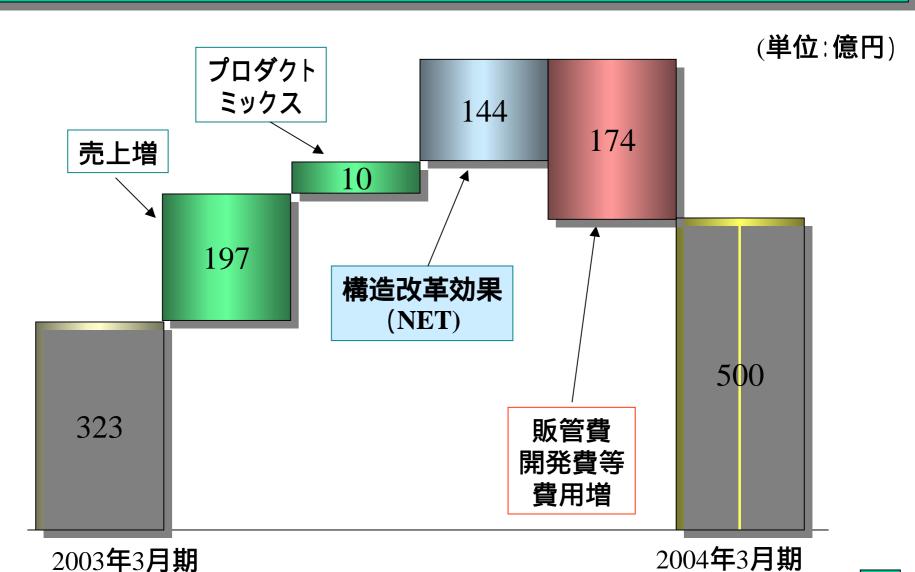
電子血圧計



世界的な健康志向の高まり トップブランド評価 (コンシューマレポート誌) 新商品の投入 (マッサージチェア、体組成計)

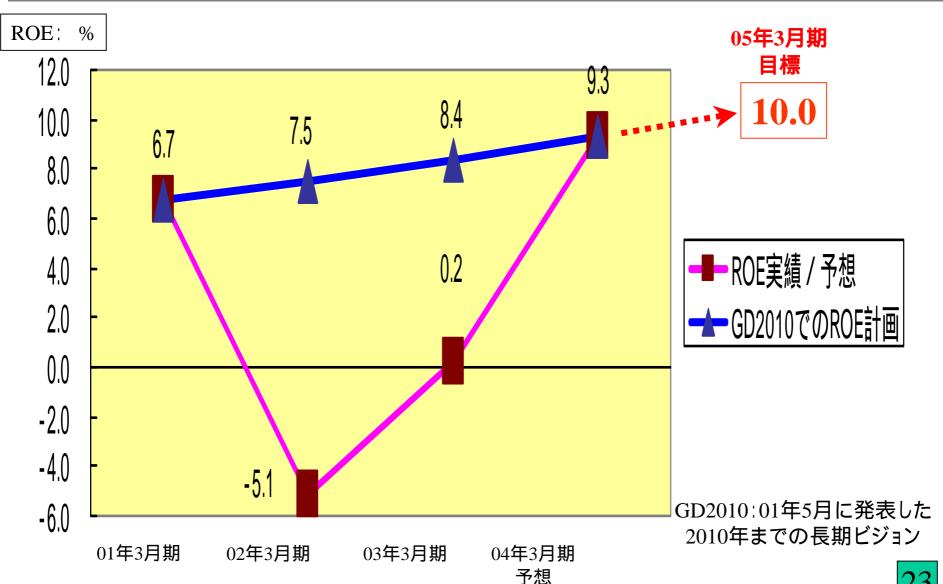
### 通期営業利益見通し





### ROE推移





### 構造改革成果1



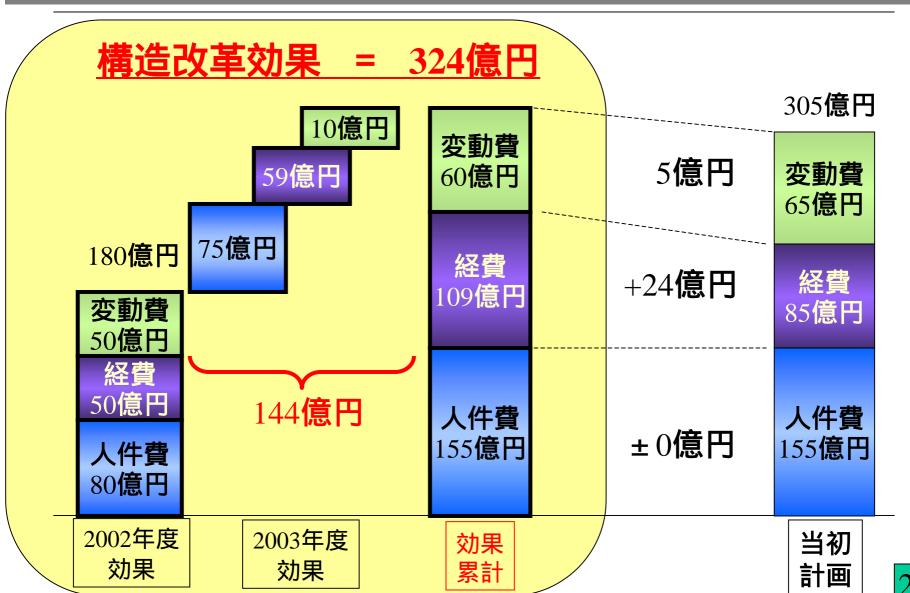
#### 実施期間

2002年4月より2003年9月末まで

<u>項目</u>	<u>目標</u>	<u>成果</u>
グループ固定費・変動費の削減	305億円	_324億円_
海外生産比率の向上	50%増	_52%増_
低採算·不採算事業の 収束·再編·売却	2 <b>事業</b> 5子会社	8事業 11子会社

### 構造改革成果2





### 構造改革成果3



事	業	構道	造改	革

8事業・11子会社の収束・売却

SSB再編、ペーパーハンドリング事業撤退、 オムロンアルファテック売却、CSB解消など

生產構造改革

国内3生産工場閉鎖 · 海外生産比率50%増

購買プロセス改革

直接材の集中購買領域拡大3.1倍

マネージメント生産性改革

管理職数削減21%

本社構造改革

3部門3部削減集約 · 本社固定費削減14%

資産構造改革

11物件売却決定 · 研究拠点集約

雇用構造改革

早期退職優遇制度1462名+800名強が退社

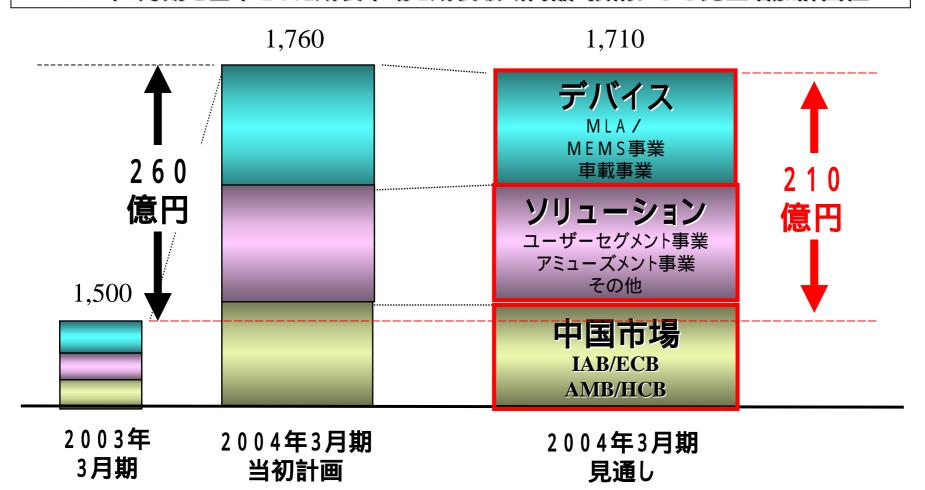
追加施策

物流費·情報費削減

### 成長領域



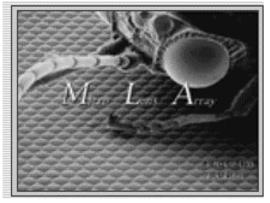
#### 2003年3月期を基準とした成長市場と成長領域商品・技術による売上増加計画値



注)上記数字には商品と地域で2重計上となっている分も含まれています。 また、各箱の大きさは金額に比例しているものではありません。

### B-MLA (Backlight-Micro Lens Array)







#### 高輝度 高効率

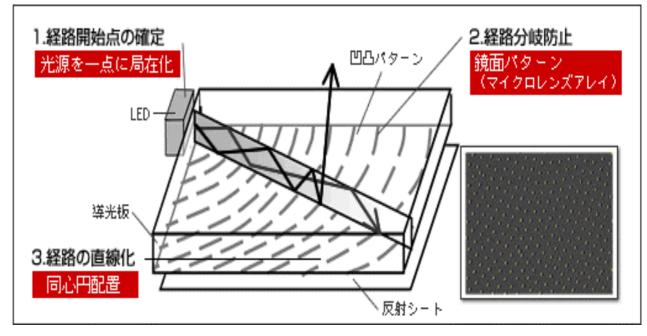
シンプル 構造

色ムラ なし

低消費

電力

#### 平成15年度全国発明表彰「経団連会長賞」受賞



マイクロフォトニクス技術

+

超精密複製加工技術

### マイクロフォトニクス技術



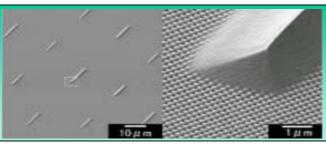
(様々な光学機能を小型、集積化し光波をコントロールする技術)

+

### 超精密複製加工技術 (生產技術)

**MLA** 

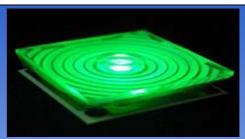
P-MLA B-MLA



フロントライト

**DR-LED** 





光通信デバイス





複製ポリマー光導波路

## OMRON

Sensing tomorrow<sup>w</sup>